

Rapport (ラポール) とは、仏語で「信頼と親愛の絆」を表しています。
多摩大学広報紙「Rapport」は、多摩大学と多摩大学サポーターをつなぐ
コミュニケーション紙です。

発行者/多摩大学 発行日/2016年9月30日
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1 TEL:042-337-1111 FAX:042-337-7103
<http://www.tama.ac.jp/>

Rapport

2016
Number
095

多摩大学 | 広報誌 |

Vol.95 Contents

第12回全日本大学フットサル大会3位！	02
2016年度 夏季SRC(Student Research Conference)発表	02
アクティブ・ラーニングプログラム	03
留学生活動報告	04
経営情報学部 後援会定期総会・教育セミナー開催	05
大いなる多摩学会 設立総会開催	05
キャリアサポート	06
経営情報学部オープンキャンパス・NEWS	07
多摩大学インターネット放送局 T-Studio	08

多摩大学フットサル部 第12回 全日本大学フットサル大会3位!

多摩大学フットサル部は、2016年8月26日～28日に府民共済 SUPER アリーナ（大阪府）で開催された「第12回 全日本大学フットサル大会」で、昨年に続き見事全国第3位となりました。

昨年同大会にて初めて3位となった後、来年こそはと、今年3月にはイタリア遠征でセリア A ラツィオなどを訪ね武者修行を断行。国際大会でも優勝するなど、様々な経験を積み重ねてきましたが、今回は最上級生が3年生。フットサル経験の浅い1年生も多い若いチームでの挑戦となり、全員が最後まで力を振り絞りましたが準決勝での敗退となりました。

今年は社会人チームとのリーグに参加するなど、新たな挑戦もすでに始まっています。引き続き熱い応援をお願いいたします。

<http://www.tama.ac.jp/futsal/>

<試合結果>

- 8月26日（金）13時40分キックオフ 1次ラウンド（グループC）
vs 信州大学ヴァイシュラヴァナ（北信越地域代表 / 長野県） ○6-1
<得点者>松村、丸田、細川、森元×3
- 8月27日（土）10時00分キックオフ 1次ラウンド（グループC）
vs 北九州市立大学シュティアドール（九州地域第1代表 / 福岡県） △4-4
<得点者>三浦、丸田、細川×2
- 8月27日（土）15時30分キックオフ 1次ラウンド（グループC）
vs 愛知教育大学シモンズ（東海地域代表 / 愛知県） ○4-2
<得点者>石田、細川、金野、米田
- 8月28日（日）10時00分キックオフ 決勝ラウンド準決勝
vs 大阪成蹊大学フットサル部（開催地代表 / 大阪府） ×3-9
<得点者>粕川、細川、金野



2016年度 夏季 SRC (Student Research Conference) 発表

2016年7月30日、多摩キャンパスにて「2016年度夏季 SRC」が開催されました。

SRCは、経営情報学部の学生がゼミの研究成果などの発表を行う場で、年2回開かれています。ゼミの枠を超えて教員や学生が多数出席し、質疑応答では熱心な質問やアドバイスがあり、日頃の研究活動について切磋琢磨できる貴重な機会となっています。

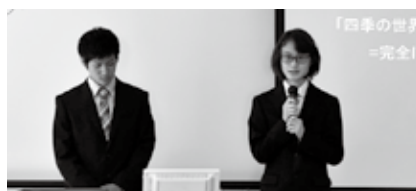
発表内容の題材は、多摩ニュータウンから着想したゲームやアニメの制作、それぞれが関心をもった研究など様々で、教員からは「表現方法の工夫が必要」「アンケート調査の対象数をもっと多く」「内容をさらに深めていこう」など研究に対する厳しい指摘や励ましの言葉がありました。

<発表合計> 31件

<http://iis.edu.tama.ac.jp/src/>

211 教室		
恩地 海太	イメージ調査	大森拓哉ゼミ
長谷川 冬弥	因子分析によるイメージ調査	大森拓哉ゼミ
久保田 翔吾	ギャンブル依存傾向における環境要因の影響	酒井麻衣子ゼミ
宮崎 貴正	若者の「〇〇離れ」現象に見る共通点	酒井麻衣子ゼミ
鹿子嶋 大輝	あなたはアウトドア派? インドア派? ～積極性の違い～	大森拓哉ゼミ
田中 友貴	ゆとりですがなにか? 大学を休む編	大森拓哉ゼミ
井上 海岬	国内携帯電話業界における効果的な事業 戦略に関する考察	酒井麻衣子ゼミ
村山 竜晟	ゲーム「鏡遊び」の制作	彩藤ひろみゼミ
笠原 敏幸	ゲーム「TAMA New Town Run」の制作	彩藤ひろみゼミ
早坂 一哉	搭乗型傾き装置と HMD を利用した仮想 空間ドライビングシミュレータ	出原至道ゼミ
市村 侑己	導かれし者 ～音響による VR 体験者の 誘導システムの研究	出原至道ゼミ
212 教室		
Joseph Ellison	Study on VR Interaction	彩藤ひろみゼミ
Jean-Baptiste Pigree	Study on Computer Graphics	彩藤ひろみゼミ
横山 大悟	アニメ「蘭隠し」の制作	彩藤ひろみゼミ
藤川 真衣	女性誌から見る女性の生き方の変遷	酒井麻衣子ゼミ
BEHESHTI Loïc	VR File Management User Interface	出原至道ゼミ / ESIEA

LEBÉE François	VR Flight Simulator	出原至道ゼミ / ESIEA
阿武 省吾	カルタを利用した就職における業界知識 獲得支援	出原至道ゼミ
桜庭 萌	初対面のコミュニケーションにおけるス トラテジー 一言語・非言語の統合的な コミュニケーションスキルの発見	酒井麻衣子ゼミ
野上 英樹	じゃんけんで勝つ方法	大森拓哉ゼミ
小池 大輝	女性アイドルやファンへの偏見のメカニズム	酒井麻衣子ゼミ
宮川 真希	現代の若者の消費行動について	酒井麻衣子ゼミ
飯尾 彩香	米 VS パン 朝食にいいのは!?	大森拓哉ゼミ
樋口 裕也	歯磨き粉は詐欺師!?	大森拓哉ゼミ
221 教室		
金木 雄也	ゲーム「ご夫婦物語」の制作	彩藤ひろみゼミ
菊本 瑞希	アニメ「多摩 NT」の制作	彩藤ひろみゼミ
吉野 睦	お酒との向き合い方	大森拓哉ゼミ
浜畑 翔平	結婚式：現代と過去のギャップについて	酒井麻衣子ゼミ
角田 寛幸	オープンデータを用いた災害発生時 における避難難民の調査	久保田貴文ゼミ
加藤 和浩	家計調査を用いた全国における麺類の 消費状況の調査	久保田貴文ゼミ
上杉 壽慶	回帰による車の総合評価の分析	今泉 忠ゼミ



アクティブ・ラーニングプログラム

アクティブ・ラーニングプログラム「地域中堅企業研究 in 島根・広島」参加所見

教務課 中澤 和臣

2016年6月12日～14日の間、アクティブ・ラーニングプログラム「地域中堅企業研究 in 島根・広島」に参加させていただきました。本プログラムの概要及び参加をとおして感じたこと等を報告します。

本プログラムの目的は、島根県及び広島県の企業等（松江市、出雲大社、株式会社農援隊、安芸高田アグリフーズ株式会社、広島駅弁当株式会社、オタフクソース株式会社等）のフィールドワーク等を通じ、地方創生のあり方、国内産業のあり方及び自分自身のキャリア形成のあり方等について能動的に学ぶことです。また、本プログラムは帝塚山大学様と共同で開発・実施され、帝塚山大学様から6名（学生5名、教員1名）、本学からは25名（学生21名、教職員4名）が参加しました。

プログラムに参加した学生は、まず学内での事前学習により地域や中堅企業に関する教育を受け、知識及び疑問点を醸成しました。そして、現地学習において現物を見て感じ、現地の方々と接触によりそれぞれ実情の理解と疑問点の解決を促進することができていたと思料します。これらの学習の効果を測定とする手段として、事前学習時及び現地学習後にアンケートが実施されました。この回答結果からは、学生の地域や中堅企業に対する印象に如実な変化が見られました。それは、「地域の中堅・中小企業は社会貢献度が高く、世の中へのインパクトが大きい」という設問のポイント向上に集約され、学生のライフスタイル・就職等に関する視野の拡大が図られたことが明らかになりました。

私が最も印象に残った現地学習での体験は、松江市観光振興公社専務理事の乙部明宏様が参加した学生に語りかけられたお言葉です。それは、「4年間の大学生活で、大学が所在する地域に対する愛着、誇りを涵養できるような取り組みをしてほしい。そのことが、社会人として働くときに務めを果たすことができる基盤となる。」というものでした。社会人として働く際の姿勢（勤め先の理念の理解、愛着等）は社会人になってから身に着くものではなく、学生時代に培うものであるという趣旨であり、非常に感銘を受けました。また、寺島実郎学長が常々話されているとおり、『多摩』という地名を冠する多摩大学がより学生に付加価値を付与し大学が発展していく鍵が、この「地域に関わる、地域を突き詰める」ことだと確信できたことは、大きな収穫となりました。

本プログラムに参加させていただいたこと及び関わった全ての方々に深く感謝します。参加により得られたものを、職務において新たな価値を創造することで反映する所存です。ありがとうございました。



出雲大社前にて

地域系アクティブ・ラーニングプログラム（小豆島）

経営情報学部 准教授 中澤 弥

今回実習の地として訪れたのは瀬戸内海に浮かぶ小豆島。高松からフェリーでおおよそ1時間。島の西側土庄（とのしょう）港に到着した。メインテーマは、オリーブと醤油、そして映画を通じての地域の活性化である。参加者は、学生26名・教員3名で、8月31日から9月2日にかけて多摩大学のセミナーハウスに2泊した。

セミナーハウスに到着後、まずは奥山雅之ゼミの二宮君によるオリーブを活用した結婚式の提案。結婚の記念に植樹したオリーブの実を2年後に贈るといったプランが説明される。セミナーハウスを提供して頂いているヘルシーランド株式会社の柳生副社長も熱心に聞き入る。2日目の午前はそのヘルシーランドのオリーブの森を見学。小さな苗から実が採れるようになるまで育てていく過程を見せて頂く。さらにスペインから移植された樹齢千年のオリーブの大樹を見る。今回お世話になった副社長とガイド役の高橋さんは、ともに多摩大学の卒業生でもある。小豆島の産業を支える人材としてさらなる発展を期待したい。

さて、小豆島と言えば映画「二十四の瞳」の舞台として有名だ。映画のロケセットを活用して作られたのが〈二十四の瞳映画村〉である。周辺に民家などが無いので、まるで昭和の世界に迷い込んだよう。村内には原作者の壺井栄の文学館があり、2011年に公開された「八日目の蟬」に関する展示もある。そう、小豆島は、昔の映画を懐かしむだけでなく、映画のロケ地としても積極的に売り出し中なのである。

次に立ち寄ったのは〈道の駅 小豆島オリーブ公園〉。全国に数多くある道の駅の中でも敷地の広さは随一だろう。実写版「魔女の宅急便」のロケが行われた関係で、貸し出し用の帯を持った観光客がうろちょろ。互いに写真を撮りあっている。もちろんしっかりとオリーブについての知識が学べる施設もある。宿に帰る途中、天使の散歩道（エンジェルロード）と呼ばれる人気スポットに立ち寄る。潮が引いた時だけ小さな島に渡れるというもので、恋人たちの聖地である。夏も終わりに近いが、さすがにここは観光客でにぎわっている。夕食は、セミナーハウスでBBQに舌鼓を打つ。

3日目、最終日は「醤（ひしお）の郷」と呼ばれている醤油工場が建ち並ぶ地区を訪ねる。マルキン醤油の記念館や島の醤油を使った佃煮の製造所などを見学して廻る。近くに小豆島で唯一の酒蔵・森國酒造がある。成人を過ぎた学生はさっそく試飲。銘柄による違いを味わう。港に向かうバスの窓から中山の千枚田を見学して、帰りのフェリーに乗り込む。天候にも恵まれ、実に有意義な3日間であった。



樹齢千年のオリーブ大樹の前で



二十四の瞳映画村を散策する

Article Tama

I am Loïc from ESIEA French engineering school and I had a wonderful time at Tama University. I have been doing an internship in Mr. Idehara virtual reality research laboratory for 2 months where I was able to work on my project.

This project consist in providing a virtual reality interface for files for a given OS, in short, a different way of presenting files in virtual reality in a way you would be able to see them, touch them and erase them. Even if I didn't get enough time to finish this project, my experience in Japan was still wonderful. It wasn't my first time in Japan, in fact, I did another internship here 2 years ago but the work I did was far from interesting...

Even so, I took a liking to this country and want to go back every year, you may see me next year... Also, it has been 3 years since I started Japanese, and the fact that I am able to communicate with people around in Japanese was a great pleasure. I still have a lot to learn though. I really liked my time in Japan 2 years ago, but this time at Tama University was way better. People around me were so nice and I made a lot of friends. I had the greatest welcome and goodbye in a way I would never have imagined. So now I am back to France and I am really thankful for this experience. I wish I had more time there but even the best things come to an end.

私は、フランスの ESIEA から来たロイックです。多摩大学では素晴らしい時間を過ごすことができました。私は、出原先生のバーチャルリアリティの研究室で2ヶ月間自分のプロジェクトを研究してきました。

このプロジェクトは、あるオペレーティングシステム上で、バーチャルリアリティによるインターフェースを提供します。このシステムは、コンピュータのファイルを、見て、触って、消去することをバーチャル空間上で可能にします。プロジェクトを完全に完成させるには時間が足りませんでしたが、日本での体験は素晴らしいものでした。実は日本は2回めで、2年前にも一度インターンシップに来ましたが、前回はあまり楽しい仕事ではありませんでした。

しかし、日本のことは大好きで、できれば毎年来たいと思っています。来年も来るかもしれませんが。日本語を勉強始めて3年目になり、日本語で他の人と意思疎通ができることは大変うれしいです。もっと勉強しなければいけませんが、2年前の滞在も良かったですが、今回の多摩大学のほうが良かったです。周りの人がとても親切で、多くの友人を作りました。特に、歓迎とお見送りは、思いもよらない素晴らしいものでした。いまフランスに帰って、改めてこの経験をありがたく思っています。もっと過ごしたかったのですが、どんないいことにも終わりはあるものです。

Loïc BEHESHTI



最終発表

Tama University Internship

Hello, my name is François from ESIEA engineering school in France. This summer I was in Tama University for an internship in professor Idehara laboratory. It was my second time in Japan and at Tama University as I went to Japan two years ago for Japanese classes and a part time job and also came at Tama a little bit to see friends and professor Idehara. This summer I was in the laboratory to work on my own project. It was a really nice experience. I worked on a flight simulator with a game engine called Unreal Engine 4. It was really good to work on my own project inside the laboratory. I also had a lot of really nice memories with the people from the seminar and the people at Tama University. I met a lot of people and I made a lot of friends.

As I am also learning Japanese, I was able to speak Japanese with the students and the professor. It was good for me to be in Japan this summer as I was able to improve my Japanese. I still discovered some places and aspects of Japanese culture thanks to professor Idehara, Ms. Idehara and the students. I also went to Kyoto as vacation and it was really good to leave Tokyo area and see the old and famous temples of Tokyo. The *gasshuku* was also a really good moment with all the people from the seminar. I was also able to taste a lot of Japanese food again, it was really delicious except natto.

I am very happy and lucky to have this internship, as most of the students who come at Tama come between the fourth and fifth year, but I was able to come at the end of my third year. I wish I will be able to come back later as I really like Japan. I have very good memory with people at Tama University, it was really one of the best experiences I had abroad, Thanks everybody! ありがとうございました!

こんにちは。フランスの ESIEA から来たフランソワです。この夏、私は出原先生の研究室でインターンシップを行いました。実は、多摩大学に来るのは2回めです。2年前に、日本語クラスと住み込みのアルバイトをする活動(訳註:「地平線協会」という学生団体の活動)があり、日本にやって来ました。そのとき、出原先生や友達に会いに多摩大学に来ています。今年の夏は、自分のプロジェクトを研究するために研究室にいました。これは、大変素敵な経験でした。私は、Unreal Engine というゲームエンジンを用いたフライトシミュレータの作成に取り組みました。研究室で自分のプロジェクトを持つことができたのはとても嬉しかったです。また、ゼミの学生たちとも本当によい思い出を作ることができました。多くの人に会い、多くの友人を作りました。

日本語を勉強しているので、先生や学生と日本語で話すことができました。この夏、日本にいたおかげで、日本語がかなり上達しました。また、出原先生夫妻や学生の皆さんのおかげで、いろいろな場所や様々な日本文化の側面を新しく知ることができました。休暇で、京都に行くこともできました。東京圏を離れて、古くて有名なお寺を見て回れてよかったです。ゼミの合宿にも参加しました。ゼミ生や OB と交流できて大変楽しかったです。2年前と同様に、ほんとうにおいしい日本の食事も楽しみました(納豆は除く)。

ほとんどの ESIEA の学生は、4年生から5年生になるところで多摩大学にやりますが、私は3年生の終わりに来る事ができてラッキーでした。また来たいと思っています。多摩大学の皆さんには、大変お世話になり、よい思い出です。実際、私の海外経験の中でも一番です。皆さん、ありがとうございました。

François LEBÉE



最終発表



Student Research Conference を終えて



初めての合宿・初めてのソフトボール

※彩藤ひろみゼミの留生活活動報告は、学生ジャーナル No.14 4面をご覧ください。

経営情報学部 後援会定期総会・教育セミナー 開催

2016年6月26日、多摩キャンパスにて「経営情報学部後援会定期総会・教育セミナー」が開催されました。当日は後援会定期総会と併せて、学内施設の見学ツアー、教育セミナー（経営情報学部の教育方針、多摩大のアクティブ・ラーニングプログラムおよび留学について、プログラム参加学生の報告会、ゼミ別懇談会）が行われ、多くの保証人の皆様の参加がありました。

○後援会定期総会

第1号議案（2015年度事業報告（案）・決算報告（案））、第2号議案（2016年度事業計画（案）・予算（案））、第3号議案（2016年度後援会役員選任）について審議され、いずれも承認されました。また後援会定期総会の最後には、新任役員を代表して奥山雅之准教授（就職委員長）からの挨拶がありました。

○教育セミナー 第1部

久恒啓一副学長（兼）経営情報学部長より「経営情報学部の教育方針」として、多摩大の教育理念と教育プログラム、就職関連情報について説明がありました。続く金美徳教授（アクティブ・ラーニング支援センター長）は、多摩大のアクティブ・ラーニング支援センターの紹介と支援内容、海外研修や企業研究など約30にもおよぶアクティブ・ラーニングプログラムの紹介をしました。またプログラムに参加した学生は、①中堅企業研究 in 金沢・富山・福井 ②中堅企業研究 in 島根・広島 ③アジア・ダイナミズム 済州島研修 ④海外留学、それぞれについての報告発表をし、奥山雅之准教授は「アクティブ・ラーニングプログラム実践（地域中堅企業研究）」、趙佑鎮教授は「多摩大学アジアダイナミズム 済州フォーラム研修視察 2015」を総括して報告を行いました。

○教育セミナー 第2部

各教室に移動し、保証人の方々とゼミ担当教員とのゼミ別懇談会、またアクティブ・ラーニングプログラムや就職相談・履修・留学・学生生活の状況などについて教職員との個別相談会も実施、情報交換や質疑応答など保証人の皆様と教職員が直接交流できる有意義な時間となりました。



後援会定期総会の様子



教育セミナーの様子



学生による参加プログラムの報告



保証人の方とゼミ担当教員が懇談

大いなる多摩学会

http://www.tama.ac.jp/cooperation/tama_shonan/

大いなる多摩学会 設立総会開催「多摩地域の問題解決を目的に始動」

2016年7月16日、たましん事業支援センター（Winセンター）にて、「大いなる多摩学会」設立総会が開催されました。久恒啓一副学長（兼）経営情報学部長の開会挨拶で始まり、寺島実郎学長による発起人挨拶と基調講演「“大いなる多摩”の創造を目指して」が行われました。引き続き、多摩大学久恒啓一副学長を議長に選出し、各議案についての審議・承認がなされ、「大いなる多摩学会」は発足しました。

その後、松本祐一准教授をコーディネーターに研究プロジェクト報告として、「健康まちづくり産業」プロジェクト（多摩市 健康福祉部 健康推進課長 伊野元康氏・株式会社ファンケルヘルスサイエンス 取締役事業戦略本部長 若山和正氏・多摩大学 経営情報学部 久保田貴文准教授）、「創業支援プラットフォーム」プロジェクト（多摩信用金庫 価値創造事業部長 長島剛氏）、「湘南藤沢におけるインバウンド」プロジェクト（多摩大学 グローバルスタディーズ学部 堂下恵准教授）、「ビッグデータ活用による“大いなる多摩”創生」プロジェクト（カスタマー・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 米倉裕之氏）の発表がありました。

大いなる多摩学会は設立趣意を「多摩ローカリティ（ローカリティ×グローバルティ）を追求することで“大いなる多摩”を目指す」とし、「広域多摩地域や都市周辺地域の問題を解決するための研究プロジェクトを設け、当該地域の生活者の幸福に資する活動を行うこと」を目的としています。目的達成のための事業として、①研究プロジェクトの企画運営 ②研究会・講演会の企画運営 ③総会・研究報告会の開催 ④広報業務 ⑤研究プロジェクト報告書・学会誌の制作を行います。研究対象は広域の多摩地域に起こる問題・課題、さらに大都市近郊・郊外に典型的な問題・課題と解決のための方法論であり、学会の参加者は多摩大学の教職員、研究開発プロジェクトに参加する企業、行政、大学、金融機関、NPO等の団体、または研究開発プロジェクトに関心のある実務者および研究者としています。会長には寺島実郎学長、副会長は久恒啓一副学長（兼）経営情報学部長（多摩大学総合研究所所長）、理事は計13名、事務局は多摩大学総合研究所および教務課（地域活性化マネジメントセンター事務課）が担当し、事務局長は松本祐一准教授（多摩大学総合研究所副所長）。2016年度の事業としてポータルサイト開設、プロジェクト・研究会の立ち上げなどがあり、活動が始まっています。



寺島実郎学長による基調講演



研究プロジェクト報告



出席者の集合写真

「社会人への道は大学1年生から」

経営情報学部 准教授 就職委員長 奥山 雅之

本学の2016年度卒業生の就職率は99%となりました。これは、ゼミ中心に産業社会や地域社会の中で直面する問題を探り上げ、それらを分析し解決策を提案・実施する活動を通じて、問題解決の実践力を養う「実学」教育プログラムと教職員一体となったきめ細かい就職支援の成果であることに加え、学生の粘り強い努力が実を結んだ結果であると考えています。



しかし、当面の就職環境は良好であると予測されているものの、経済状況は予断を許さず、今後も昨年度のような就職環境が続く保証はありません。さらに今後は、就職率といった「量」の面だけでなく、学生一人ひとりの特性に応じた就職を実現するといった「質」の面での就職実績も重要であると考えます。

このため、今後とも、豊かな実務経験、企業とのネットワークを持つ教授陣とキャリア支援専門職員とが一丸となって学生と向き合い、きめ細かい就職支援を実施していくとともに、アクティブ・ラーニングを中心とした能動的・主体的な学習へと大きく舵を切り、厳しい就職活動や社会人生活にも果敢に立ち向かう、自立した社会人、時代の課題に向き合う人材の育成を目指してまいります。

また、長丁場となる就職活動では、そこに立ち向かう学生は精神面でも相当な負担となり、モチベーションを維持することは大変です。こんなときに大切なのは保護者・保証人の皆様の支えです。本学では、年2回開催する後援会主催の「就職セミナー」において、最新の就職環境を保護者・保証人の皆様と共有し、学生の円滑な就職活動の展開を後押ししてまいります。

さて、学生の皆さんのキャリア形成は、すでに入学時から始まっているのです。というのも、大学における講義やアクティブ・ラーニングプログラムだけでなく、友人とのコミュニケーション、目的意識を強く持ったアルバイト、部活動やサークル活動、地域でのボランティア活動など、すべて社会人基礎力を養成する場なのです。就職活動を積極的に進めて満足できる就職先を獲得するためには、「日々の生活での様々な経験が自分のキャリアをつくっていく」ということを常に意識しながら、将来を見据え、大学四年間の限られた時間を有効に活用し、悔いのない学生生活を過ごしてください。私たち就職委員会も、自分の将来に向けて努力する学生の皆さんを全力でサポートします。

多摩キャンパス 〈学内で受験できる資格試験〉

経営情報学部では、就職活動を有利に進めるために資格の取得を推奨しています。在学中は特別価格で受験できますので、積極的にチャレンジしましょう。

○ TOEIC (Test of English for International Communication) IP テスト (団体特別受験制度)

英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストで、可否ではなく、10点から990点までのスコアで評価されます。世界約150カ国で実施され、「世界共通の基準」として活用することができ、英語力を客観的に証明する指標として多くの企業、団体、学校などで評価されています。

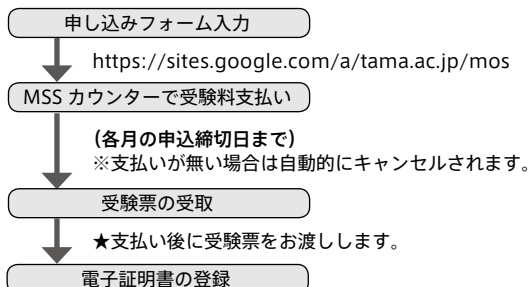
- 受験料 無料(通常価格 5,725円) ■ 年2回実施/次回は11月または12月に実施予定。(2016年度第1回は6月に実施)
- ※ 試験日はT-Next、学内の掲示ポスター、授業にてお知らせいたします。

○ MOS (Microsoft Office Specialist)

マイクロソフト社がエンドユーザー向けに認定する世界共通の資格です。Microsoft Office 製品を利用する能力を客観的に証明するもので、就職活動でのアピールポイントになることはもちろん、就職後の実務でも強力な即戦力となります。

- 受験料 1科目の受験料は3,000円(通常価格 10,584円)
- 1科目に合格すると、以降は1科目1,000円で受験できます。
- ※ 1回の試験につき1科目のみの受験となります。
- 試験時間 1科目 50分 パソコンによる試験です。
- 可否判定はその場で出ます。

【申し込み】



http://www.odyssey-com.co.jp/id/id_touroku.html
★受験者IDが発行されます。このIDは受験当日、他の科目での受験、電子証明にも使用するので紛失しないように注意してください。

2016年度秋学期 MOS 試験日程 (予定)

試験申込締切日	試験日
7/29(金)	8/22(木) 23(金) 24(土)
8/26(金)	9/26(月) 27(火) 28(水)
9/30(水)	10/24(月) 25(火) 26(水)
10/27(金)	11/28(月) 29(火) 30(水)
11/30(金)	12/19(月) 20(火) 21(水) 22(木)
1/20(水)	2/20(月) 21(火) 22(水) 23(木)
2/24(金)	3/20(月) 21(火) 22(水)

試験開始時刻 (学期中) 17:00 ~ (8・2・3月) 15:00 ~
各回定員 Office2013・Office2010 (合計25名)

試験会場: 241・242 教室

Microsoft Office Specialist 2013(全科目)/Expert(Excel Word)
Microsoft Office Specialist 2010(全科目)/Expert(Excel Word)
受験料 (MOS資格未取得者 3000円/MOS資格取得者 1000円)
お問い合わせ <メディア・サービス (ALC)> mss@gr.tama.ac.jp
MOS試験受付はこちら <https://sites.google.com/a/tama.ac.jp/mos/>

【問い合わせ】メディア・サービス (ALC)
mss@gr.tama.sc.jp

模擬講義や模擬ゼミ体験、在学生との交流などで多摩大学を紹介

高校生や保護者の方々に多摩大学への理解を深めてもらうため、経営情報学部とグローバルスタディーズ学部は、オープンキャンパスを開催しています。

学部・入試説明会や個別相談・模擬面談、大学の授業が体験できる模擬授業、学食体験、在学生が学内の施設を案内するキャンパスツアーなどが行われ、ラーニングコモンズではキャンパスライフなどについて教職員・在学生と高校生・保護者の方が直接話す機会が設けられました。また両学部ではそれぞれ独自のスペシャルプログラムを開催するなど盛りだくさんの内容となっています。

2016年8月7日、経営情報学部では、模擬講義1（浜田正幸

教授）「ディズニーランドの魔法は心理学でわかる」、模擬講義2（下井直毅教授）「『行動経済学』とは？」、模擬ゼミ（浜田正幸教授）、スペシャルプログラム、志望理由書作成講座や入試対策コーナーが開催されました。

当日の模擬ゼミのテーマは「高校生が行きたくなる多摩大学のオープンキャンパスのアイデアを考えてください」。教員によるレクチャーのあと、高校生たちは次々に思いつくままアイデアを書き出すなど積極的に授業に取り組み、グループごとにまとめて発表者が発表しました。その他にも在学生と交流したり、学内を見学したり、熱心に大学の雰囲気を経験する高校生の姿が見られました。



学部・入試説明



下井直毅教授の模擬講義



浜田正幸教授の模擬ゼミ



教職員・在学生との交流



キャンパスツアー



学食体験



志望理由書作成講座



個別相談

News

「多摩大学 寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座IX」延べ受講者10万人を突破

2008年から開講した「多摩大学 寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座」は、春・秋学期それぞれ12回の公開講座を毎年開講し、2016年春で9年目を迎えました。6月16日の講座では、延べ受講者数10万人を突破し、10万人目と前後2名の受講者の方に主宰の寺島実郎学長から記念品が授与されました。

寺島実郎学長をはじめ、各界の碩学を講師として迎え、リレー講座として日本と世界が置かれた歴史的位相を多面的な視点から再検討し、その今日的課題を解析するプログラムを構築する講座は、一般受講者400名と学部生200名が同じ教室で受講する他に類を見ない講座であり、近年は地元の多摩地域だけでなく県外からの受講者も増えています。講座開始の2時間前から受付に並ぶ受講者の皆さまの姿は、2008年の開講以来変わらない風景です。

延べ受講者10万人達成の記念品授与では、会場から温かい拍手が贈られ、団塊の世代がリタイアする時代におけるアクティブな熟年世代の「シルバーデモクラシー」を体現する講座として地域に浸透しています。

【多摩大学 寺島実郎監修リレー講座】<http://relay-kouza.net/>



10万人達成の記念品授与式



リレー講座の会場の様子

日本初の「ルール形成戦略研究所」を創設

2016年6月1日、多摩大学の研究開発機構に新たに「ルール形成戦略研究所」（所長：國分俊史）を創設しました。ルール形成戦略を専門とする日本初の総合シンクタンクとなります。

環境、医療、食糧、エネルギー、テクノロジーなどの分野において地球規模で様々な課題が深刻化する中、具体的な社会課題解決を志向する高いビジョンを掲げ、それに向けて新市場創出につながる社会システムのイノベーションを主導することが、グローバル企業経営における重要な戦略テーマとなっています。こうしたイノベーションを成功に導くには、革新的な製品・サービスの開発に加え、その普及を通じた市場創造と社会課題の解決を同時に実現する新たな秩序創出のための能動的な戦略、即ち「ルール形成戦略」が求められます。

本研究所は、従来国内で専門分野としての認識が必ずしも高くなかった「ルール形成戦略」に関して、政産官学の垣根をこえた知見の集積を加速させ、また、本分野に関わる世界各国の専門家や有識者とのネットワーク構築を通じて、最先端のルール形成戦略機能の抜本的な強化と、それに基づく国際競争力の持続的な向上に寄与することを目指しています。

多摩大学では、本研究所での活動を契機として、今後はルール形成戦略に関する学位授与を行う大学院教育課程の創設も視野に入れ、ルール形成戦略を新たな学問分野として確立していくことを目指しています。

【多摩大学 ルール形成戦略研究所】<http://www.tama.ac.jp/research/ord/rule.html>



記者発表後の記念写真
（右から國分俊史所長、寺島実郎学長、徳岡晃一郎副所長）



多摩大学インターネット放送局 T-Studio

<http://www.tama.ac.jp/t-studio/>

多摩大学創立 25 周年記念ファシリティ『T-Studio』は、地域の情報発信拠点となることを目指して、一角に設置したスタジオで制作した様々な「課題解決型情報番組」をインターネットを通じて発信しています。是非アクセスしてご視聴ください。



多摩大学ホームページの図解・下方バナーのアイコン  をクリック



各番組のアイコンをクリック

放送一覧

大いなる多摩学会



産官学民連携で多摩地域の問題解決を推進

トレンドウォッチャー
～時代の波がしら～



橋川幸夫 × 久恒啓一
多摩大学 T-Studio

柔らかい発想でとらえる「時代の波がしら」

多摩大学 T-Studio



久恒啓一の「名言との対話」

偉人、賢人、著名人達の人生を学ぶ

10年に亘る偉人の記念館を訪ねる旅、全国で（一部海外）約700の人物記念館を訪問し、見えてきた日本の真の近代史。時代を超えて心に響く偉人の名言を、独自の視点で紹介する番組です。

多摩地域発！未来へ



ナビゲーター 多摩大学 教授 小林英夫
多摩大学 T-Studio

いきいきと今を生きる団塊の世代からのメッセージ！

人生を楽しく、生き生きと生きる「人生の達人」をゲストに迎えて、多摩大学 教授 趙佑鎮 がその人なりの流儀や思考をインタビュー。活力のない現代に力強く達人の極意を伝えます。

多摩大学 T-Studio



人生の達人 にさく
MC: 趙佑鎮

活力のない現代に伝える「人生の達人」の極意

多摩大学 T-Studio



奥山尊之 多摩大学 准教授
魁！中小企業塾

超！学生向け「経営マネジメント」

中村その子ゼミナール



多摩大学の個性あふれる先生に体当たりインタビュー & Have a break!

あなたの「志」は、なんですか？



多摩大・志チャンネル

「FM多摩」復興プロジェクト



2010年3月、壊れながら再開した「FM多摩」を今更なる力で復活させよう！

FM 多摩 復興プロジェクト

多摩大学ハイブリッドメディア研究会



同日開催

2016年 11月 12日(土)・13日(日)

〈多摩キャンパス〉10:00～18:00 (両日)
〈湘南キャンパス〉10:00～17:00 (両日)

多摩キャンパス 経営情報学部

第28回 多摩祭 グローカルフェスタ

Gift

<http://hibari-fes25.jimdo.com/>

湘南キャンパス グローバルスタディーズ学部

第10回 SGS Festa

～世界の10周年～

<http://sgsfesta2016.jimdo.com/>